

ひこね市文化プラザ ☎26-8601 FAX 26-8602  
9月の休館日：1月・8月・16日・22日・29日

- 4日(土) 13:30～  
お楽しみコンサート「**芸術の秋**」  
☆出演：木村麻美子(ピアノ)、池田真里子(ソプラノ)、森本ほのか(ソプラノ)、三輪のり子(ハープ)  
【鑑賞無料】
- 5日(日) 15:00～  
財彦根市文化体育振興事業団設立30周年記念  
**大阪シンフォニカー交響楽団演奏会**  
指定 S席 4,000円、A席 3,000円、B席 1,500円  
【好評発売中】
- 10月 15日(水) 18:30～  
倉木麻衣 待望の彦根ライブ決定！  
**Mai Kuraki Live Tour 2008 “touch Me!”**  
指定 6,000円 【好評発売中・残席わずか】  
※完売の場合はご了承ください
- 27日(月) 18:30～  
市民に贈る…吹奏楽の夕べ  
**ブリヂストン吹奏楽団久留米演奏会**  
自由 入場無料(ただし入場整理券が必要)  
【9月18日(休)9:00入場整理券配布開始 ※一人2枚まで】  
※入場整理券配布場所 ひこね市文化プラザチケットセンター
- 11月22日(土) 14:00～/18:00～ **2回公演**  
**宝塚星組公演**  
詳しくは、「広報ひこね」8月1・15日号をご覧ください。  
指定 1階席 6,500円、2階席 5,500円  
【好評発売中】  
※完売の場合はご了承ください
- 11月27日(木) 19:00～  
劇団四季 ミュージカル  
**「ジーザス・クライスト=スーパースター」**(ジャポネスク・バージョン)  
指定 S席 8,400円、A席 6,300円、B席 5,250円  
【9月14日(日)発売開始】
- 12月18日(木) 18:30～  
ロマンティック・ラブコメディ「**月の輝く夜に**」  
☆出演：大地真央、岩崎大、上條恒彦 ほか  
指定 S席 6,000円、A席 4,000円  
【9月28日(日)発売開始】  
※発売初日は電話による予約販売のみ  
※発売初日終了後、残席がある場合は、9月30日(火)以降に窓口販売も行います。

**ひこね市民大学講座**  
第2講 トークショー「日本の政治経済のゆくえ」  
9月7日(日) 宮崎哲弥さん(評論家・コメンテーター)  
☆時間：14:00～  
☆料金：全席自由 4,000円【好評発売中】

マーク：託児サービスがあります。(要予約)  
※公演日の1週間前までにご予約ください。  
マーク：公演終了後、彦根駅行き・南彦根駅行きの臨時バスの便があります。(有料)

チケット・入会のお申し込み、お問い合わせは  
**チケットセンター ☎27-5200 (9:00～19:00)**

彦根城博物館 ☎22-6100 FAX 22-6520  
9月の休館日はありません。  
9月1日(月)～同3日(水)、9月29日(月)～10月1日(水)は展示替えのため、展示室を一部閉室しています。

開館時間 8:30～17:00 (入館は16:30まで)

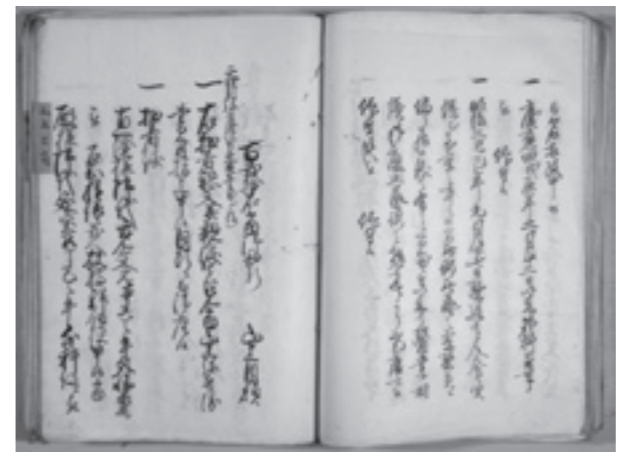
9月4日(休)～同29日(月)  
人権学習シリーズ  
**「江戸時代の医療」**  
医療技術や医者と患者との関係など、江戸時代の医療のあり方を史料で紹介し、現代の医療のあり方を改めて見つめ直します。  
▲池田源同御用記録二  
観覧料が必要です

9月6日(土) 14:00～15:00  
解説：本館学芸員 渡辺恒一  
※事前申し込みは不要です。当日、館内講堂にお集まりください。

9月2日(火)～同28日(日)  
**犬塚外記宛 井伊直弼書状 重要文化財**  
若き日の直弼が、もっとも信頼をおいた彦根藩士である、犬塚外記にあてた手紙。

市民体育センター ☎23-2293 FAX 23-2294  
9月の休館日：2日・9日・16日・24日・25日・30日

- 7日(日) 10:00～12:00  
**フレッシュスポーツデー ニュースポーツ**  
予定種目 囲碁ボール、カラーリング ほか  
場所 市民体育センター  
参加費 小学生以上 1人200円  
持ち物 運動のできる服装、体育館シューズ
- 5日(日) 10:00～12:00  
**フェスタ・エアロビクス**  
体育センター・フィットネス教室のインストラクター3人によるエアロビクスのお祭りです。  
場所 市民体育センター  
参加費 1人500円  
定員 100人(先着順、中学生以上)  
申込方法 前日までに市民体育センター窓口、電話ファクスのいずれかで申し込んでください。
- 10月 19日(日) 9:30～12:00 ※雨天中止(当日8:00に決定)  
**フェスタ・グラウンドゴルフ**  
場所 県立彦根総合運動場 多目的広場  
参加費 1人500円  
定員 100人(先着順、小学生以上)  
申込方法 前日までに市民体育センター窓口、電話ファクスのいずれかで申し込んでください。



▲「医者由緒帳」  
(上：表紙、左：本文)

彦根藩では、元禄4年(1691)から、廃藩前の明治初頭までの170年余りの間、すべての家臣に履歴書を提出させました。この履歴書は、藩の目付役が帳面にまとめ、家臣の人事管理に用いられました。その結果、膨大な量の家臣たちの履歴史料が藩に蓄積されました。これが、彦根藩井伊家文書(彦根城博物館蔵、重要文化財)に伝わる「侍中由緒帳」という史料です。

「侍中由緒帳」に収められた家臣の大半は、武力によって井伊家に奉公する武士でしたが、なかには、医者や能役者、鷹匠など、別の専門能力で仕える人びとも含まれていました。医者には「**「医者由緒帳」**」、能役者には「**「能役者由緒帳」**」が、それぞれ1冊ずつ作成され、このうち、「**「医者由緒帳」**」には、31家の医者の家の履歴が収められています。

医者は、江戸時代中期以降は、常時、30家前後が抱えられており、藩

主に薬を調製する奉業役を筆頭に、奥医師と表医師とに分かれていました。これらの医者たちは藩医として、藩主と、その一族の人びとの病氣治療や日常的な健康管理に当たり、これに加え藩士たちの診療も行いました。医師の分野は本道(内科、鍼灸、外科など)が見られます。

ところで、「**「医者由緒帳」**」における、藩医の召し抱えの時期を見ると、江戸時代前期の17世紀に16家、中期の18世紀に6家、後期の19世紀に9家となり、召し抱え(解雇)や断絶となった藩医に代わり、新たな医者が補充されていたことが分かります。彼らは召し抱え以前は、京都や江戸、近江国など各地の民間医でした。また、民間医の子弟が藩医の養子に入る例もよく見られます。

藩医たちは、おたがいに情報交換をしたり、技術を伝えたりして、医学知識や医療技術の維持に努めていたと考えられます。ただ、医学は、絶えず知

識と技術が革新していく分野であるため、藩組織の外部から人材を登用し、かつ新たな知識と技術を取り入れることが重要でした。つまり、彦根藩は、民間にひるがる医者の世界に依拠することによって、藩主をはじめとする藩組織の構成員の病氣やけがに対処できる医療体制を確保・維持することができたのです。徳川幕府によって全国的な医療体制・制度が築かれなかった江戸時代においては、藩医と民間の医者とが相互に交流し連携することにより、彼らが地域の医療の主たる担い手となりました。

テーマ展 人権学習シリーズ⑨「江戸時代の医療」では、江戸時代の医療の様子を紹介し、現代における医療の歴史的な達成を確認するとともに、医療のあり方を改めて見つめ直す機会を提供したいと考えています。  
(彦根城博物館学芸員 渡辺恒一)

写真の古文書は、彦根城博物館テーマ展「人権学習シリーズ⑨」江戸時代の医療」で、9月4日(休)～同20日(月)まで展示しています(期間中無休)。

とまきの玉手箱

博物館からのメッセージ

